



EU ライトキット

Groundsmaster® 5900 シリーズ ロータリーモア キャブ搭載機用

モデル番号 31695

取り付け要領

安全について

安全ラベルと指示ラベル



危険な部分の近くには、見やすい位置に安全ラベルや指示ラベルを貼付しています。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



decal136-0007

136-0007

1. ブレーキ

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行う。
2	必要なパーツはありません。	—	バッテリーの接続を外します。
3	ワイヤハーネス スイッチ 補助ブレーキ用デカル	1 1 1	ワイヤハーネスを取り付ける。
4	右側ランプブラケット 左側ランプブラケット ハトメ	1 1 2	ヘッドライトを取り付けますROPS搭載車両のみ。



手順	内容	数量	用途
5	右側ランプブラケット	1	ヘッドライトを取り付けますキャブ搭載車両のみ。
	左側ランプブラケット	1	
	右側ヘッドライトアセンブリ	1	
	左側ヘッドライトアセンブリ	1	
	ボルト $\frac{1}{2}$ x 1"	2	
	ナット $\frac{1}{2}$ "	2	
	ボルト $\frac{1}{4}$ x $\frac{3}{4}$ "	2	
	ナット $\frac{1}{4}$ "	2	
	ハトメ	2	
6	プレートライト	1	ライトプレートとナンバープレートブラケットを取り付けます。
	ナンバープレートブラケット	1	
	標識マウント	1	
	ねじ#10 x $\frac{3}{4}$ "	2	
	スピードナット	2	
	キャリッジボルト $\frac{1}{4}$ " x $\frac{5}{8}$ "	2	
	ナット $\frac{1}{4}$ "	2	
	デカル20		
7	ピボットブラケット	2	後部ランプを取り付けます。
	ライトマウント	2	
	右側チューブマウント	1	
	左側チューブマウント	1	
	左側ライトハウジング	1	
	右側ライトハウジング	1	
	内側マウント	2	
	キャリッジボルト 5/16 x $\frac{3}{4}$ "	4	
	キャリッジボルト $\frac{1}{4}$ " x $\frac{5}{8}$ "	4	
	ナット $\frac{1}{4}$ "	10	
	ナット5/16"	4	
	ボルト $\frac{1}{4}$ x $\frac{3}{4}$ "	6	
	六角ソケットボタンヘッドねじ $\frac{1}{4}$ x $\frac{3}{4}$ "	8	
	ボルト $\frac{1}{2}$ x 1 $\frac{1}{2}$ "	4	
8	必要なパーツはありません。	—	マシンがCEモードになっていることを確認する。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを止め、キーを抜取る。

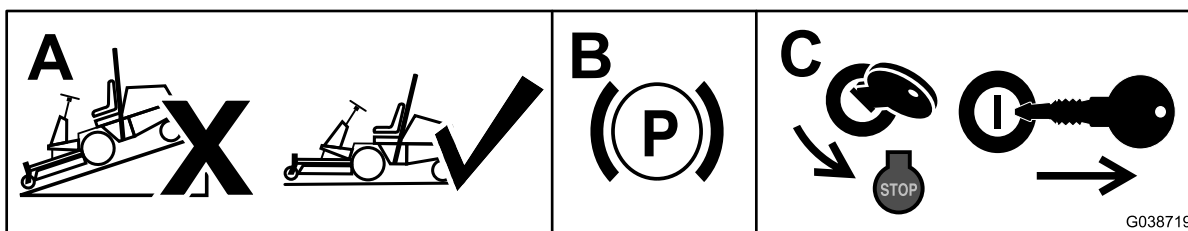


図 1

g038719

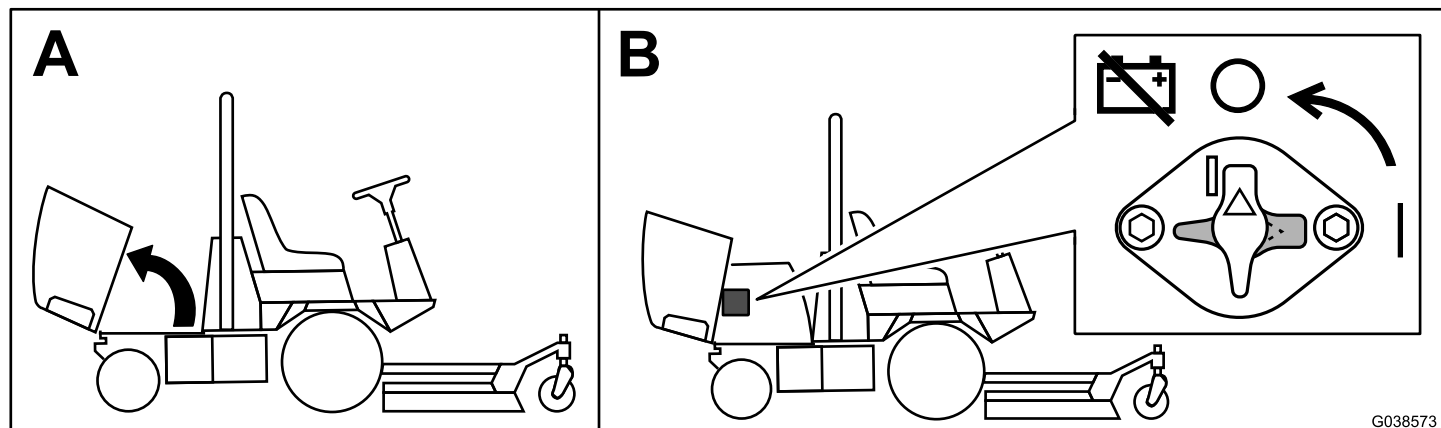
2

バッテリーの接続を外す

必要なパーツはありません。

手順

バッテリー遮断スイッチを OFF にする。



g038573

図 2

3

ワイヤハーネスを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ワイヤハーネス
1	スイッチ
1	補助ブレーキ用デカル

手順

1. コンソールにパネルを止めているボルト本を外してパネルを外す 図 3。

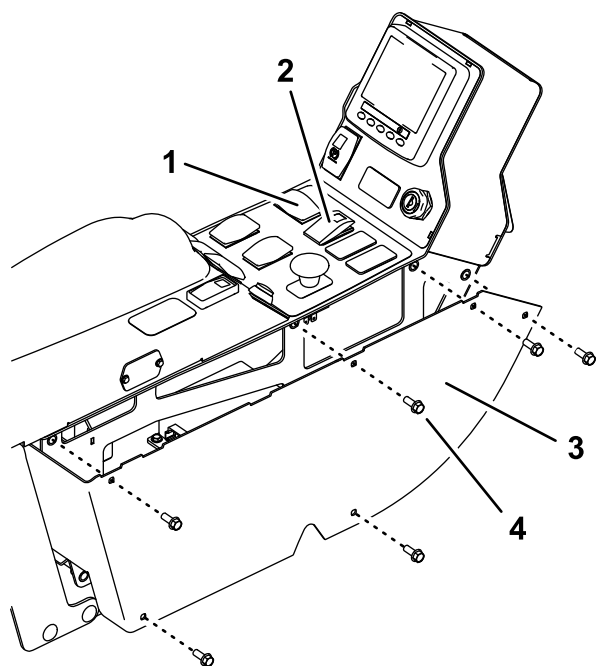


図 3

g186692

1. 方向指示器スイッチ
2. ハザードスイッチ
3. パネル
4. ボルト6本

2. ハザードスイッチと方向指示器スイッチのコネクタを外す 図 3。
3. コントロールパネルについているプラグを打ち抜いて、スイッチを取り付ける 図 4。

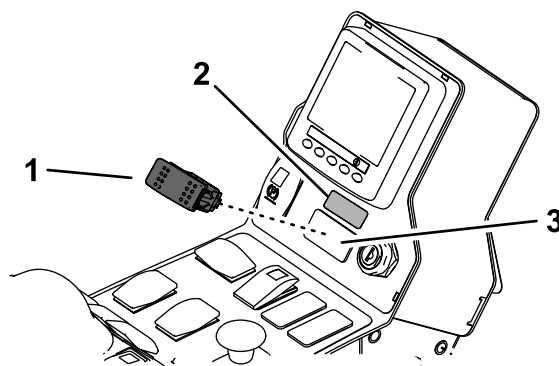


図 4

g186717

1. スイッチ
2. 補助ブレーキ用デカル
3. 打ち抜き部

4. スイッチの上に補助ブレーキのデカルを貼り付ける 図 4。
5. 新しいワイヤハーネスを、ハザードスイッチ、方向指示器スイッチ、補助ブレーキスイッチに取り付ける 図 5。

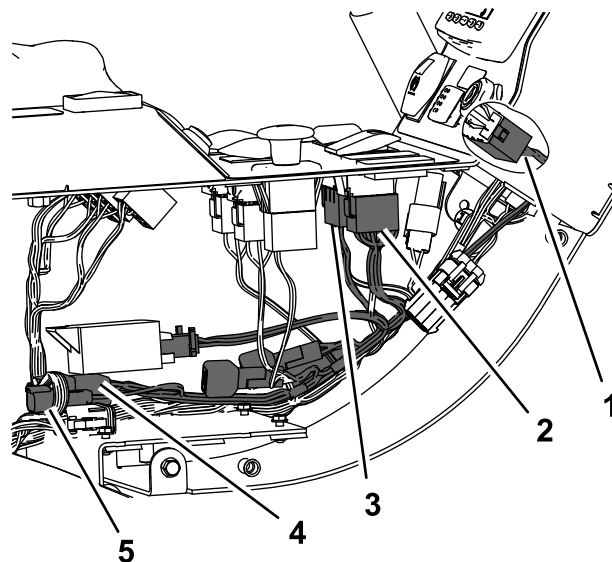


図 5

g349451

1. 補助ブレーキスイッチに接続。
2. 方向指示器スイッチに接続。
3. ハザードスイッチに接続。
4. メインワイヤハーネスに接続。
5. メインワイヤハーネスについているEUライト電源コネクタに接続する。

6. ワイヤハーネスを、コンソール内にある車両用メインワイヤハーネスに接続する 図 5。
7. パネルを取り付ける 図 3。

4

ヘッドライトを取り付けるROPS 搭載車両のみ

この作業に必要なパーツ

1	右側ランプブラケット
1	左側ランプブラケット
2	ハトメ

手順

1. 既存のヘッドライトからワイヤハーネスを外す。

2. ヘッドライトを外す。ライトと金具類は保管する。
3. ヘッドライトに付いているブラケットを外して廃棄する 図 6。
4. 外した金具類を使って、運転台前部にある既存の穴にヘッドライト用のブラケット左用と右用を取り付ける 図 6。
5. ヘッドライトアセンブリに付いている既存の金具を使用して、左右のヘッドライト用ブラケットにヘッドライトを取り付ける 図 6。
6. ヘッドライト用マウントにハトメを取り付ける 図 6。
7. ヘッドライト用マウントの下からワイヤハーネスをハトメに通す。
8. 各ヘッドライトにハーネスを接続する。

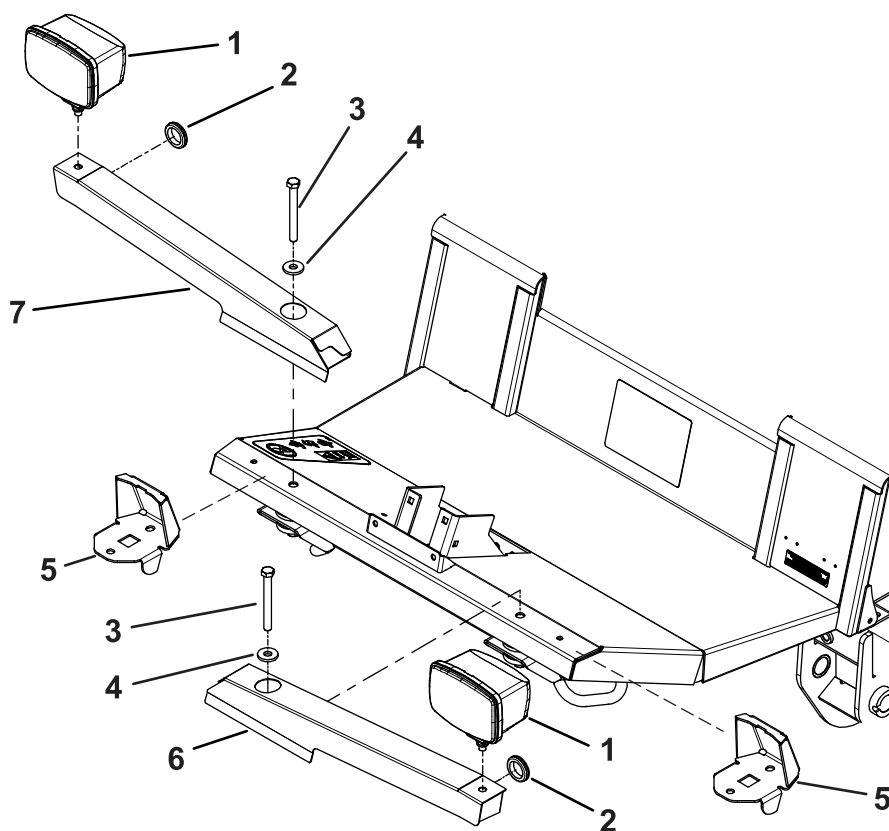


図 6

g349448

1. 既存のヘッドライト
2. ハトメ
3. 先ほど外したボルト
4. 先ほど外したワッシャ

5. 既存のブラケットを外して廃棄する。
6. 左側ランプブラケット
7. 右側ランプブラケット

5

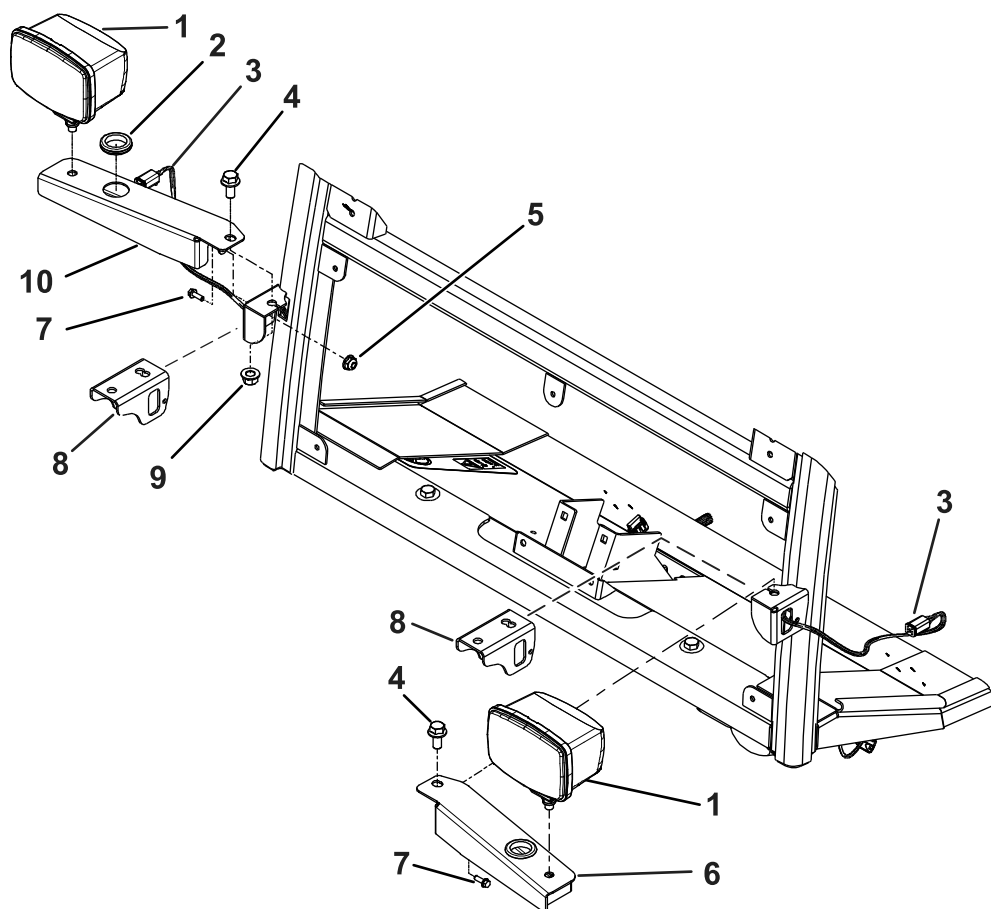
ヘッドライトを取り付けるキャブ搭載車両のみ

この作業に必要なパーツ

1	右側ランプブラケット
1	左側ランプブラケット
1	右側ヘッドライトアセンブリ
1	左側ヘッドライトアセンブリ
2	ボルト $\frac{1}{2} \times 1"$
2	ナット $\frac{1}{2}"$
2	ボルト $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}"$
2	ナット $\frac{1}{4}"$
2	ハトメ

手順

1. 既存のヘッドライトからワイヤハーネスを外す。
2. ヘッドライトを外す。ライトと金具類は保管する。
3. 既存のブラケットを外して廃棄する。
4. ヘッドライト用マウントにハトメを取り付ける。
5. 図 7 のように、各ヘッドライト用マウントをキャブのフレームに取り付けるボルト $\frac{1}{2} \times 1"$ 1本、ナット $\frac{1}{2}"$ 1個、ボルト $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}"$ 1本、ナット $\frac{1}{4}"$ 1個を使用する。
6. ヘッドライトアセンブリについているねじ類を外し、これらを使って、ライトをブラケットに固定する。
7. ヘッドライト用マウントの下からワイヤハーネスをハトメに通す。
8. 各ヘッドライトにワイヤハーネスを接続する 図 7。



g349447

図 7

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1. ヘッドライト | 6. 左側ヘッドライト用マウント |
| 2. ハトメ | 7. ボルト $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ " |
| 3. ワイヤハーネス | 8. 既存のブラケットを外して廃棄する。 |
| 4. ボルト $\frac{1}{2} \times 1$ " | 9. ナット($\frac{1}{2}$ " |
| 5. ナット $\frac{1}{4}$ " | 10. 右側ヘッドライト用マウント |

6

ライトプレートとナンバープレート ブラケットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	プレートライト
1	ナンバープレートブラケット
1	標識マウント
2	ねじ#10 x ¾"
2	スピードナット
2	キャリッジボルト¼" x ⅝"
2	ナット¼"
	デカル20

手順

1. 後バンパーの下についているカバーを外す 図 8。

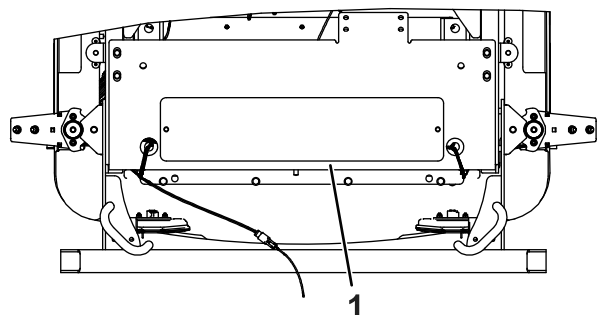


図 8
底面図

1. 後バンパーの下のカバー

2. 後バンパーについている警告サインと取り付けチューブを外す 図 9。

注 ボルトはバンパーから外さないでください。

3. ワイヤをプレートライトに固定しているケーブルタイを外す。
4. 金具を使ってサインマウントをバンパーに固定する 図 9。
5. ナンバープレートブラケットの四角穴にスピードナット2個を取り付ける。
6. サインマウントにナンバープレートブラケットを取り付けるキャリッジボルト¼" x ⅝"2 本とナット¼"2個を使用する。
7. 電気コードをプレートライトへ導いてライトに接続する。

8. プレートライトをナンバープレートブラケットに取り付けるねじ#10 x ¾"2 本と、ブラケットに付いているスピードナットを使用する。

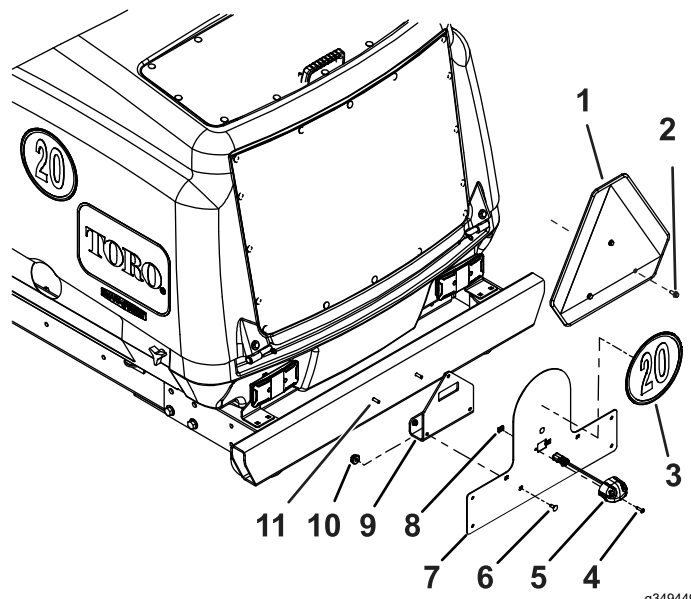


図 9

1. 警告サイン
2. 既存のボルト
3. 標識
4. ねじ#10 x ¾"
5. プレートライト
6. キャリッジボルト¼" x ⅝"
7. ナンバープレートブラケット
8. スピードナット
9. 標識マウント
10. ナット¼"
11. 既存のボルト

9. ナンバープレートブラケットに標識を貼り付ける 図 9。

7

後部ランプを取り付ける

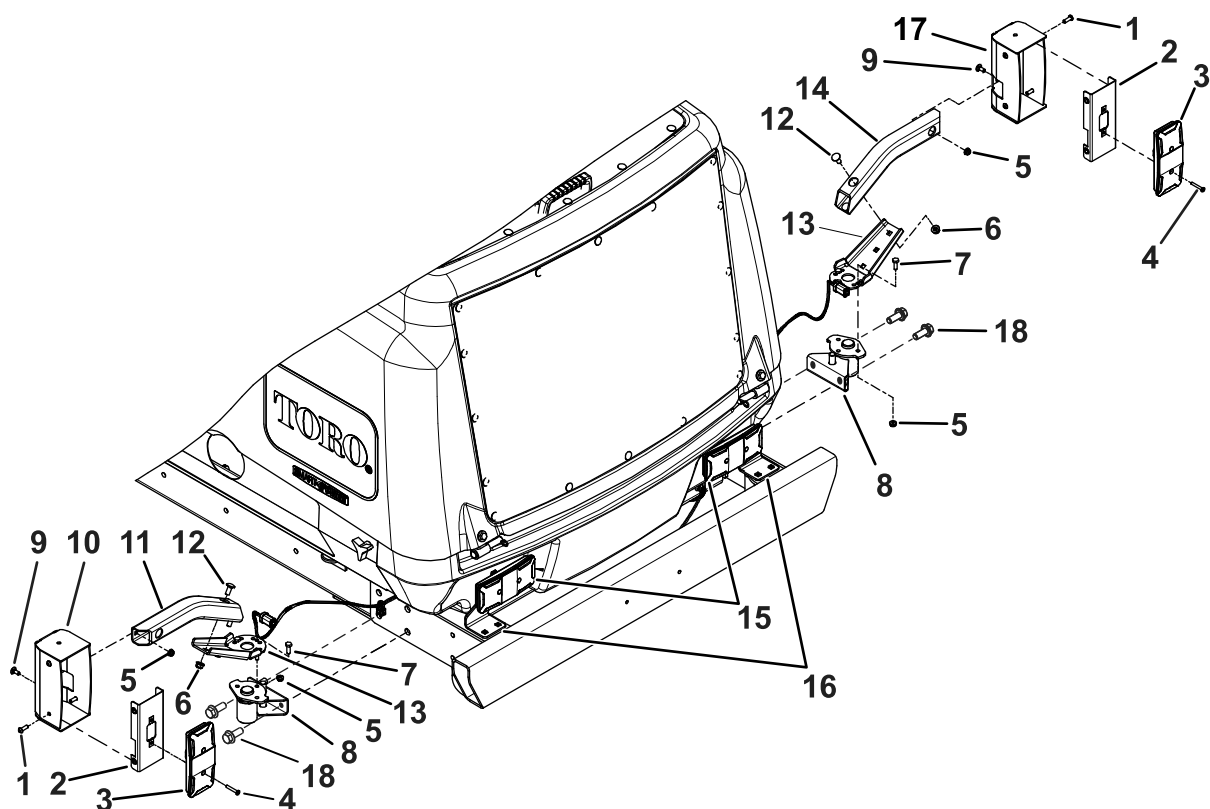
この作業に必要なパーツ

2	ピボットブラケット
2	ライトマウント
1	右側チューブマウント
1	左側チューブマウント
1	左側ライトハウジング
1	右側ライトハウジング
2	内側マウント
4	キャリッジボルト 5/16 x ¾"
4	キャリッジボルト ¼" x ⅝"
10	ナット ¼"
4	ナット 5/16"
6	ボルト ¼ x ¾"
8	六角ソケットボタンヘッドねじ ¼ x ¾"
4	ボルト ½ x 1½"

手順

1. 両方のテールライトからワイヤハーネスを外す。

2. テールライトを外す。
3. 後バンパーに付いているブラケットを外し、ブラケットと金具類を廃棄する [図 10](#)。
4. 左右それぞれでバンパーを機体フレームに固定している下ボルト ½ x 1¼" 2 本を外す。
5. 機体の左右側面それぞれにピボットブラケットを取り付けるボルト ½ x 1½" 2 本を使用する [図 10](#)を参照。
6. それぞれのピボットブラケットにライトマウントを取り付けるボルト ¼ x ¾" 6 本、ナット ¼" 6 個を使用する。
7. 各ライトマウントに、左右のチューブマウントを取り付けるキャリッジボルト 5/16 x ¾" 4 本とナット 5/16" 4 個を使用する。
8. 左右のチューブマウントに、左右のライトハウジングを取り付ける [図 10](#)。
9. チューブマウントに、ライトハウジングを取り付けるキャリッジボルト ¼ x ⅝" 2 本とナット ¼" 2 個を使用する。
10. 既存のライト黄色レンズが上を、各内側マウントの上部に取り付ける既存のプラスねじを使用する。
11. ハーネスのコネクタを、チューブマウントとハウジングに通してライトに接続する。
12. 内側マウントをハウジングに取り付けて固定する六角ソケットボタンヘッドねじ ¼ x ¾" 8 本を使用する。



g349462

図 10

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 六角ソケットボタンヘッドねじ | 10. 左側ハウジング |
| 2. 内側マウント | 11. 左側チューブマウント |
| 3. 既存のライト黄色レンズが上 | 12. キャリッジボルト 5/16 x 3/4" |
| 4. 既存のプラスねじ | 13. ライトマウント |
| 5. ナット 1/4" | 14. 右側マウントチューブ |
| 6. ナット 5/16" | 15. 既存のライトを取り外す。 |
| 7. ボルト 1/4 x 3/4" | 16. 既存のブラケットを取り外す。 |
| 8. ピボットブラケット | 17. 右側ハウジング |
| 9. キャリッジボルト 1/4" x 5/8" | 18. ボルト 1/2 x 1 1/2" |

8

マシンがCEモードになっていることを確認する。

必要なパーツはありません。

手順


1. 機械を始動する。
2. 刃の先端から平らな床面までの距離を測る  11。



図 11

運転操作

ライトスイッチとハザードスイッチの使用方法

- キースイッチを ON にしてライトスイッチを ON 位置にすれば、ヘッドライトが点灯します。
- ハザードスイッチを ON にすると車両前後のハザードランプが点滅します。
- キースイッチを ON にし、方向指示器スイッチの左側を押すと左折シグナルが点灯し、右側を押すと右折シグナルが点灯します。スイッチの中間位置は OFF 位置です。

注 各ランプの動作を確認する。また、方向指示ランプの操作に応じて正しい側のランプ適切に作動することを確認する。

ヘッドライトの調整

1. 調整は取り付けナットをゆるめて行う。
2. それぞれの地域の規制に合わせて調整する。

3. マシンがCEモードになっていることを確認する。CEモードになっていない場合には代理店に連絡する。

補助ブレーキスイッチの使用 方法

補助ブレーキスイッチを押して保持するとエンジン速度が下がってきます 図 12 スイッチから手を離すと、その時点でのエンジン速度を維持します。

注 何度かに分けて押せば、徐々に減速することができます。

エンジン速度が 1,200rpm 以下の時にスイッチを押した場合や、スイッチを押してエンジン速度を 1,200rpm 以下にした場合は、エンジンが停止してマシンは停止します。再始動するには、キーをSTART 位置に回し、エンジンが始動したらすぐにキーから手を離してください。

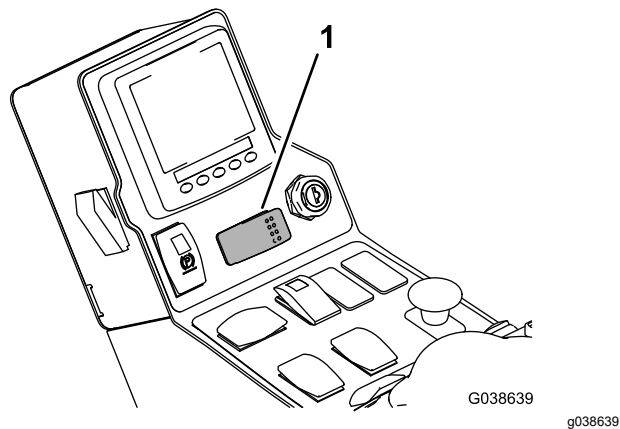


図 12

1. 補助ブレーキスイッチ

メモ

メモ

EEA/UK におけるプライバシーに関するお知らせ

Toro によるお客様の個人情報の利用について

The Toro Company (“Toro”) は、お客様のプライバシーを尊重します。弊社の製品をお買い上げ頂いた際、弊社ではお客様に関する情報を、お客様から直接、あるいは弊社の支社や代理店を通じて入手いたします。入手した情報は、お客様との契約を履行するために使用されます。具体的には、お客様のための製品保証登録、保証請求の処理、万一製品をリコールする場合のご連絡、さらには弊社の事業を進めるため、たとえばお客様満足度を調査したり、製品の改良、またお客様にとって役に立ちそうな製品のご紹介などに使用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の子会社、提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。また、法律に基づく要請があった場合や、事業の売却、買収、合併などが発生した場合にはお客様の情報を開示する場合があります。ただし、マーケティングのためにお客様の個人情報を他社に売ることは絶対にいたしません。

個人情報の保存

Toro では、上記の目的にとって必要な期間にわたり関連法律に従ってお客様の個人情報を保持いたします。具体的な保持期間についての詳細をお知りになりたい方は以下にご連絡ください legal@toro.com。

セキュリティについての Toro のお約束

あなたの個人情報についての情報処理作業は、米国またはあなたが居住される国のデータ保護関連規制よりも規制がゆるやかな第三国で行われる場合があります。あなたが居住する国の外にあなたの個人情報を移動させる場合、弊社は法に則った手続きでそれを行い、あなたに関わる個人情報が適切に保護され、また適切に取り扱われるように細心の注意を払います。

アクセスと訂正

お客様には、ご自身の個人情報を閲覧・訂正する権利があり、また、ご自身に関するデータの処理に対して異議申し立てないしは禁止を申し立てる権利があります。このような権利行使をなさりたい場合には legal@toro.com にメールでご連絡ください。弊社によるあなたの個人情報の取り扱い方法に関して懸念をお持ちの場合は、ご自身で直接弊社にお尋ねくださるようお願いいたします。なお、ヨーロッパにお住まいの皆様は、Data Protection Authority に対して異議申し立てを行うことができます。



Toro 製品保証

2 年間または 1,500 時間限定保証

保証条件および保証製品

Toro 社は、Toro 社の製品以下「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2 年間または 1,500 運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証はエアレータを除くすべての製品に適用されますエアレータに関する保証については該当製品の保証書をご覧ください。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラーに対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

製品のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。必要な整備や調整を怠ったことが原因で発生した不具合などの問題点はこの製品保証の対象とはなりません。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品や Toro 以外のアクセサリ類を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。
- 推奨される整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 製品を使用したことによって消耗した正常なパーツ通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレイキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャストホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、その他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、フローメータ、チェックバルブが含まれます。
- 以下のような外部要因が原因で発生する不具合天候、格納保管条件、異物、不適切な燃料、冷却液、潤滑剤、添加物、水、薬品などの使用。
- 適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用にともなう音、振動、磨耗、損耗および劣化。通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラーへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は弊社の正規サービスセンターにご相談ください。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって交換された部品は製品の当初保証期間中、保証の対象となり、取り外された製品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。場合により、弊社は再製造部品による修理を行います。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。注リチウムイオンバッテリーバッテリーの保証内容をご確認ください。

クランクシャフトのライフタイム保証プロストライブ 02657 モデルのみ

トロ社の純正摩擦ディスクおよびクランク安全ブレードブレイキクラッチ統合ブレードブレイキクラッチBBC摩擦ディスクアセンブリを当初から搭載し、当初の購入者様がトロ社の推奨する運転方法および定期整備を遵守してご使用されたプロストライブ製品には、クランクシャフトの曲がり不具合に対するライフタイム保証が適用されます。摩擦ワッシャ、ブレードブレイキクラッチBBCその他のデバイスを搭載した製品には、このクランクシャフトのライフタイム保証は適用されません。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

Toro 社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。当社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

排ガス保証についてのご注意

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧ください。